

★子どもたちが、自分のことを自分でできるような関わりを意識しましょう！

子どもたちには、繰り返しの中で、良い習慣を身につけさせてあげてくださいね。

大人がやってあげたり、持ってあげたりすることは、ある意味簡単なことですが、一度悪しき習慣を覚えさせてしまうと（誤学習させてしまうと）、その後の矯正が大変なのは言うまでもありません。

誤学習させてしまっているんじゃないかと思われるケースが、しばしば見られますよ。カバンや持ち物を子どもに持たせずに大人が持つ、衣服や所持品の始末を子どもにさせずに大人がする、等々、日々の忙しさの中でついついしている手出しが、子どもたちの自立の妨げになっているかもしれません。

ある時から急に「ひとりだけでやりなさい！」と言われても、なかなかどうにもならないものです。日々の少しずつの積み重ねを大切にしたいものですね！

★土曜保育をご利用の皆様へ

8月31日（土）は、「夏祭り」開催のため、保育利用時間を6:30~12:00とさせていただきます。（6:30~7:00は早朝保育です）

何卒ご理解、ご協力ください。

なお、どうしても都合のつかない方は、保育園までご相談ください。

★降園時間帯は、どうしても駐車場が混み合います。各々が次の利用を待っていらっしゃる方のことも考えながらの行動を意識してくださいね。

お互い様の気持ちを大切に！



ふたばランド

ふたばランド保育園

# 8月の園だより



2019. 8. 1

牛久市中央5-5-2 tel.029-873-5528 ip phone.050-3428-9254

プール設置後、これほどプールを使用せず  
に過ごした6月・7月は、今までにありませ  
んでした。  
「やっと夏が来た〜！」という感じですが、  
（とは言い、突然の真夏日続きには、いささ  
かうんざりですが...）  
とにかく、夏ならではの開放的な遊びを十  
分に楽しみながら、子どもたち一人一人が、  
一層心を安定させていくことが出来ることを  
願っています。  
とかく、技術・技能の習得や知識の獲得に  
目を奪われたり、価値を求めたくなる瞬間が  
あるかも知れませんが、乳幼児期は、出来る  
限り感覚・感性に訴  
える実際の体験を積  
ませてあげることが  
大切です。  
何かが出来たり、  
何かを知っていたり  
することも、確かに  
意義深いことかも知  
れませんが、その都  
度どう感じたり、ど  
う行動できるか、心  
に沁みる経験を通し  
ての基礎工事が何よ  
り重要ではないかと  
感じています。

## リトミック 8/26 (月)

● 今月も、講師の中島よし子先生と一緒に、楽し  
く活動していきます。1歳児（ひかりぐみ）も、  
今月から中島先生に指導していただきます。  
日々の活動の継続と積み重ねが何より大切で  
すが、子どもたちの様子に応じた関わり方を、  
その都度見直していきたいと思っています。

## 誕生会 8/28 (水)

● 一人一人にとっての「その時」を、しっかりとお  
祝いしてあげたいものです。  
「みんなで育ち合う」=「みんなでみんなの成長  
を喜び合う」「ふたばランドらしさ」をしっかりと  
根づかせながら、一人一人が大きくなりますよ  
うに！

## 保護者会主催・夏祭り 8/31 (土) 12:00~

● 今年も、保護者会役員、夏祭り委員の皆さんを  
中心に、着々と準備が進んでいるようです。  
保育園でも、夏祭りに向けて園内の雰囲気徐徐に  
盛り上げていこうと計画しています。  
みんなでつながって、楽しい「夏祭り」になるよう、  
皆様のご理解、ご協力をお願いします！！  
なお、詳しいことにつきましては、後日配布される  
お知らせをご覧ください。

★ 8/13(火)・14(水)・15(木)は、「希望保育」とさせていただきます。

★ 8月は、「おべんとうデー」・「カレーライスの日」がありません。

## 今月の予定

### 牛久市幼児教育指導員の先生方による「おはなし会」



8/2 (金) 14:00~

● 4、5歳児を対象に、牛久市幼児教育指導員の宮本 弘先生と栗山明彦先生が、紙芝居と絵本の読み聞かせに来園していただきます。ストーリー性の強い長編作品にも、何とか耳を傾けている子どもたちです。「聴く力」を育てることは、とても大切です！



### 4歳児・視覚検査

8/21 (水) 13:00~

● 牛久市内の各保育園・幼稚園・認定こども園の4歳児を対象とした検査になります。子どもたちと一緒に目の健康について考える良い機会となりますように。



### 交通安全教室

8/22 (木)

● 今回は、「防犯」についてのお話です。日頃よりお子さんと一緒に交通安全や防犯について話し合う時間をもちながら、自分の身を自分でしっかりと守ることができるような意識を育てていきたいものですね。

乳児の成長段階においてみられる「人見知り」。  
周りのものがはっきりと見えるようになり、それを識別できるようになってきたことに加え、見知らぬ人に対して「近づきたいけど怖い」といった心の葛藤、つまり、見知らぬ人に対して興味を持つといった心の発達が引き起こしている現象と言われています。  
顔を見て泣かれる方としては、正直、何とも切なく悲しい気持ちになることがあるかも知れませんが、そんなときは、必要以上には触れたり、声を掛けたり、顔を覗き込んだりするのほかに、さり気なく、見て見ぬふりを装うこと、ある意味で開き直って、つかず離れず、子どもとの間に程よい距離感を保つことが大切です。

かつて、私の顔を見るなり、まるで鬼にでも遭ったかのように火がついたように泣きながら部屋の隅に逃げている子がいました。結局、2年間

改めて、人間形成の基礎を培う乳幼児期の子どもとの関わりを考えた場合、特に、ジリツ（自立・自律）の育ちを促したい時期にある子どもたちですが...。如何でしょうか。子どもとの距離感はどうですか？

近すぎて、子どもが身動きとれないような拘束性の強い、指示・命令の多い状態になってはいませんか。或いは、子どもが自分で何もしなくていいような依存性の高い状態にはなっていませんか。はたまた、逆に遠すぎて、いささか放任状態や突き離し気味にはなっていませんか。

あくまでも、大人中心の生活の中で子どもを振り回さずに済むような配慮を少し意識してあげることが、子どもとの距離感を考えていく上で、とても重要なポイントになるような気がします。